

2024年3月期 決算説明資料

2024年5月21日

芝浦機械株式会社

2024年3月期 決算概要

- 1) 対経営改革プラン定量目標
- 2) 対業績予想
- 3) 決算のポイント
- 4) 対前年度

※本編で使用されている“BSF”は、“リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置”を示しています。

業績サマリー（対経営改革プラン定量目標）

Shibaura Machine

中期経営計画「経営改革プラン」最終年度の定量目標値を超過達成

	2023年度 実績 (A)	2023年度 経営改革プラン 定量目標 (B)	差異 (A-B)
売上高	1,606億円	1,350億円	+256億円
営業利益率	8.5%	8.0%	+0.5pt
ROE	17.8%	8.5%	+9.3pt
配当性向	※52.1%	40%目途	+12.1pt

※「MFLP座間（相模物流施設）」事業化に係る特別利益（土地売却益）は、等価交換方式のため建物の持分取得に充てられたことから、当期純利益から除いています。また、2024年5月13日に公表した自己株取得を含めた総還元性向として算出しています。

業績サマリー（対業績予想）

Shibaura Machine

(単位：億円)

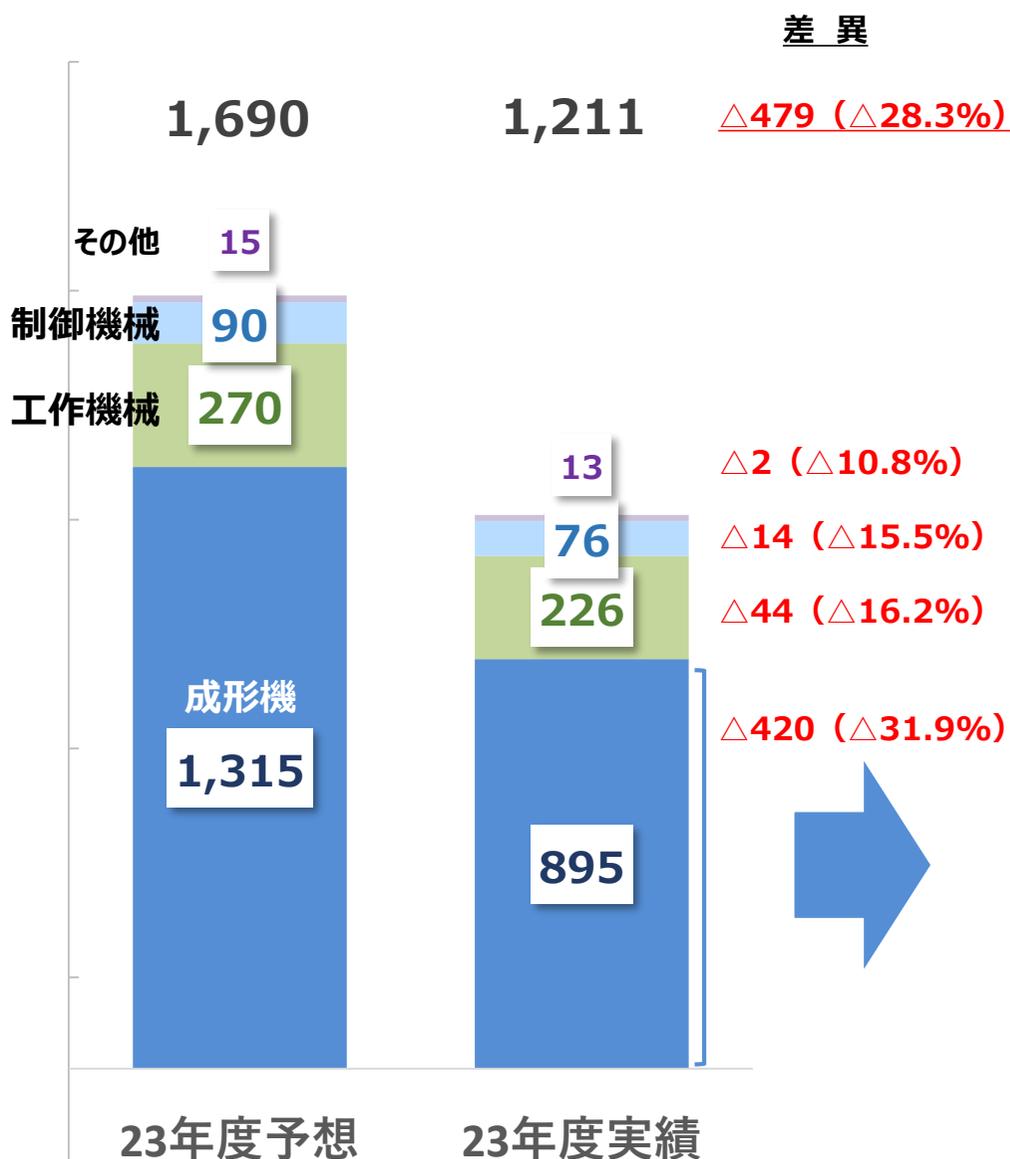
	2023年度 実績 (A)	2023年度 業績予想 (2023/5/15公表) (B)	差異 (A-B)
売上高	1,606	1,800	△ 194
営業利益	136	150	△ 14
利益率	8.5%	8.3%	+0.2pt
経常利益	146	145	+1
利益率	9.1%	8.1%	+1.0pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	179	180	△ 1
利益率	11.2%	10.0%	+1.2pt
受注高	1,211	※ 1,690	△ 479
為替レート (USD)	151 円	126 円	※受注高は2023/11/8公表値

- 売上高は主にEV用「BSF」の検収が翌期以降にずれ込み未達
- 営業利益は成形機セグメントを中心に利益率は改善したが、売上規模減少により未達
- 円安による為替差益等で経常利益は増加、当期純利益は微減
- 受注高はEV用「BSF」が大幅未達

対業績予想 受注高 (セグメント)

Shibaura Machine

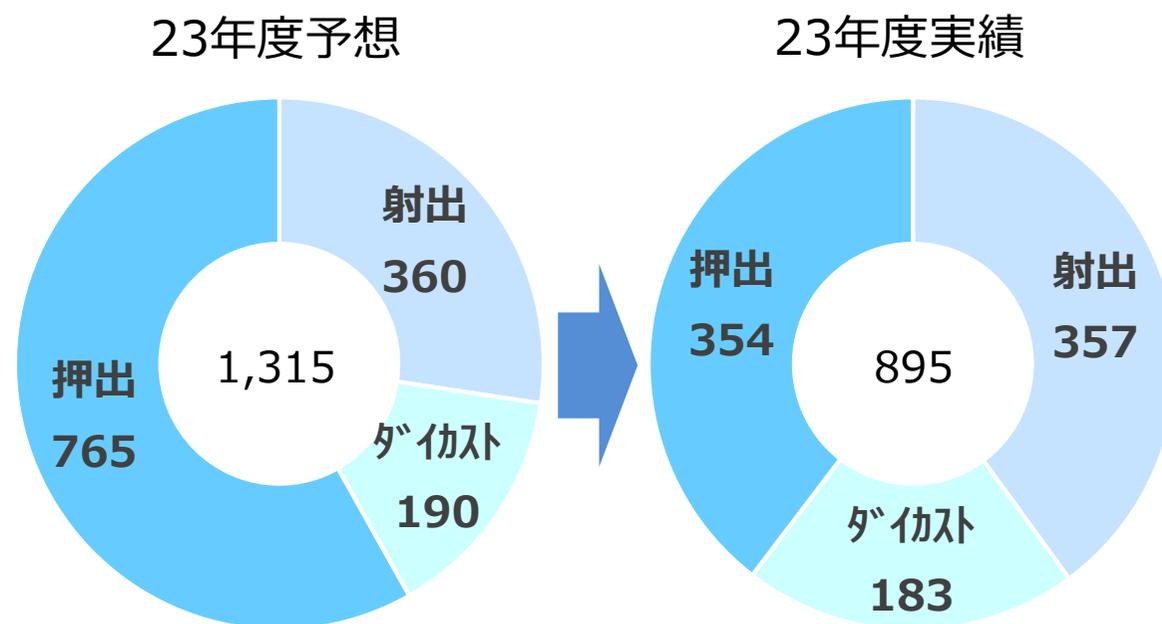
(単位：億円)



(単位：億円)

成形機内訳

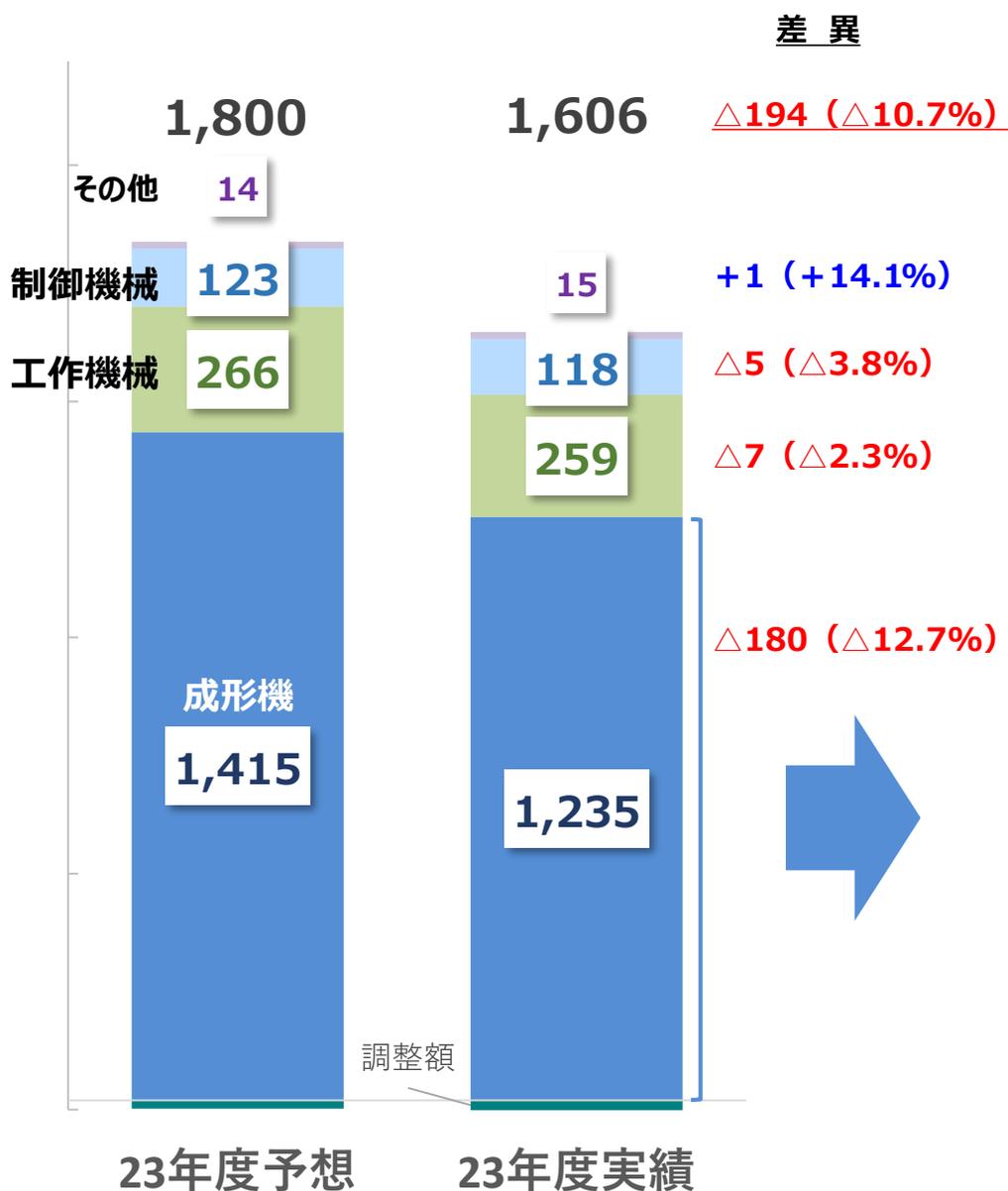
射出 : 射出成形機
 ダイカスト : ダイカストマシン
 押出 : 押出成形機



対業績予想 売上高 (セグメント)

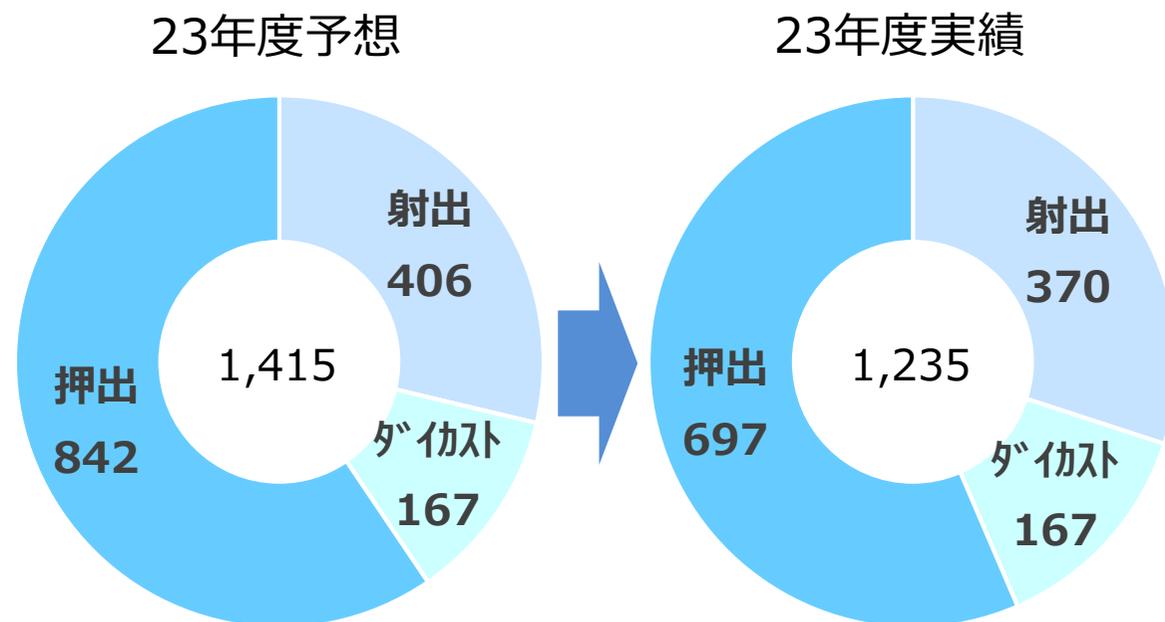
Shibaura Machine

(単位：億円)



(単位：億円)

成形機内訳



前年度比 増収・増益

■ 売上高

- 中国における押出成形機のEV用「BSF」が大幅に増加
- 国内、北米、東南アジア等におけるダイカストマシンが増加
- 国内における制御機械の電子制御装置、システムエンジニアリングが増加

■ 営業利益・経常利益・当期純利益

- 売上規模増加により営業利益・経常利益は大幅増益
- 「MFLP座間（相模物流施設）」事業化に係る特別利益（土地売却益※）の計上などにより当期純利益は増益

※本土地の売却益については、等価交換方式のため建物の持分取得に充てられています。

■ 受注高

- 「BSF」は中長期におけるEVの普及拡大が予測されるものの、足元ではEV需要の伸びの鈍化、次世代機種への切替時期が重なり、大幅な反動減
- 中国の景気低迷等の影響による工作機械の減少

業績サマリー（対前年度）

Shibaura Machine

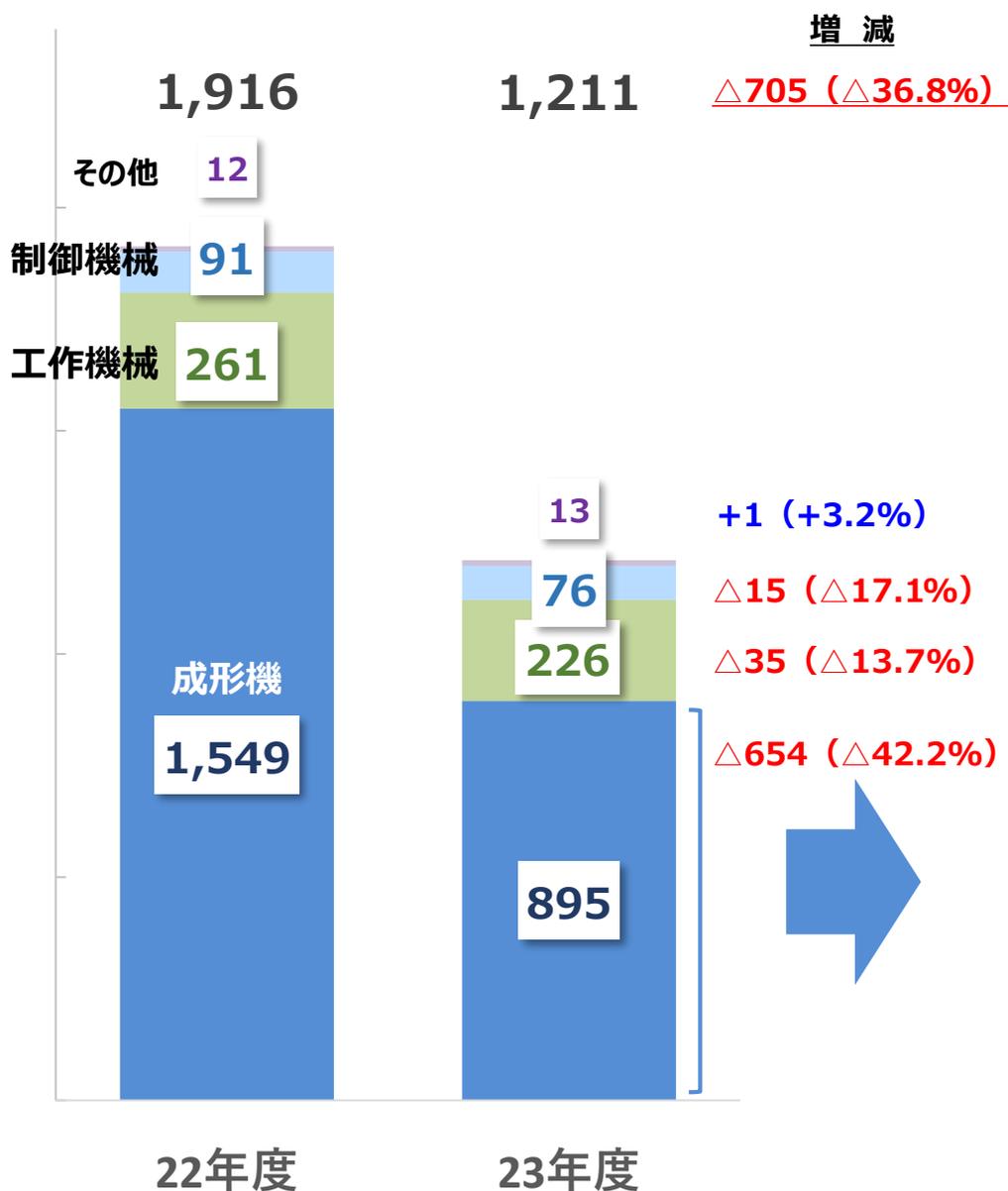
(単位：億円)

	2023年度実績 (A)	2022年度実績 (B)	増減 (A-B)
売上高	1,606	1,231	+375
営業利益	136	57	+79
利益率	8.5%	4.7%	+3.8pt
経常利益	146	52	+94
利益率	9.1%	4.3%	+4.8pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	179	64	+115
利益率	11.2%	5.2%	+6.0pt
受注高	1,211	1,916	△ 705
為替レート (USD)	151 円	134 円	

※営業利益為替感応度 (US\$)
1 円につき約 7 千万円/年 (円安は利益増加)

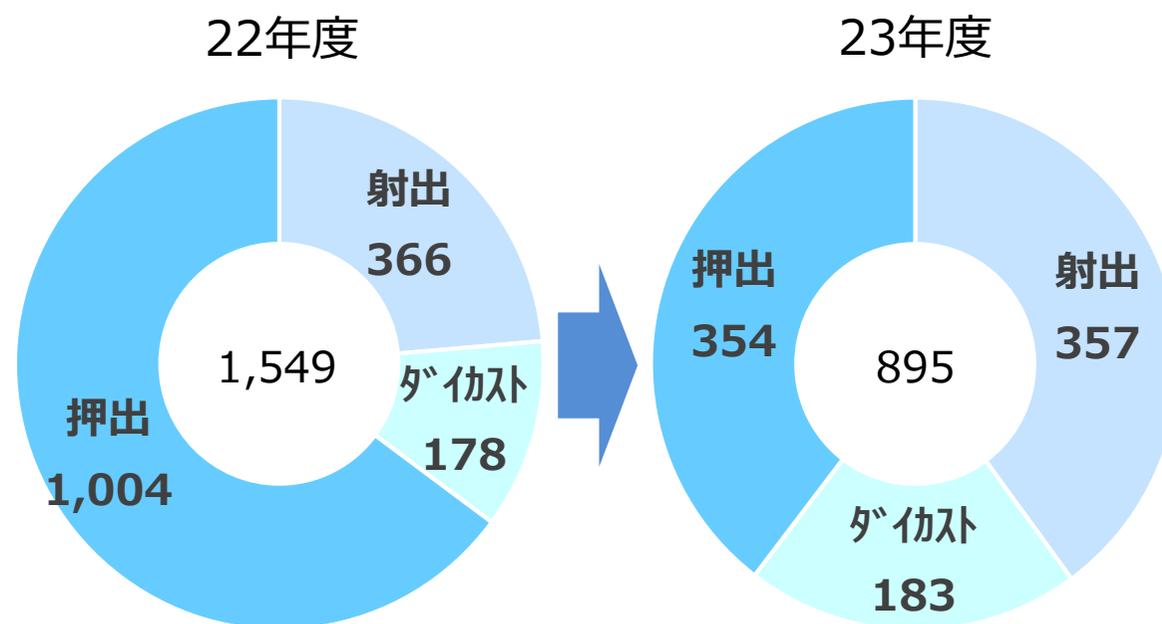
受注高 (セグメント)

(単位：億円)



(単位：億円)

成形機内訳

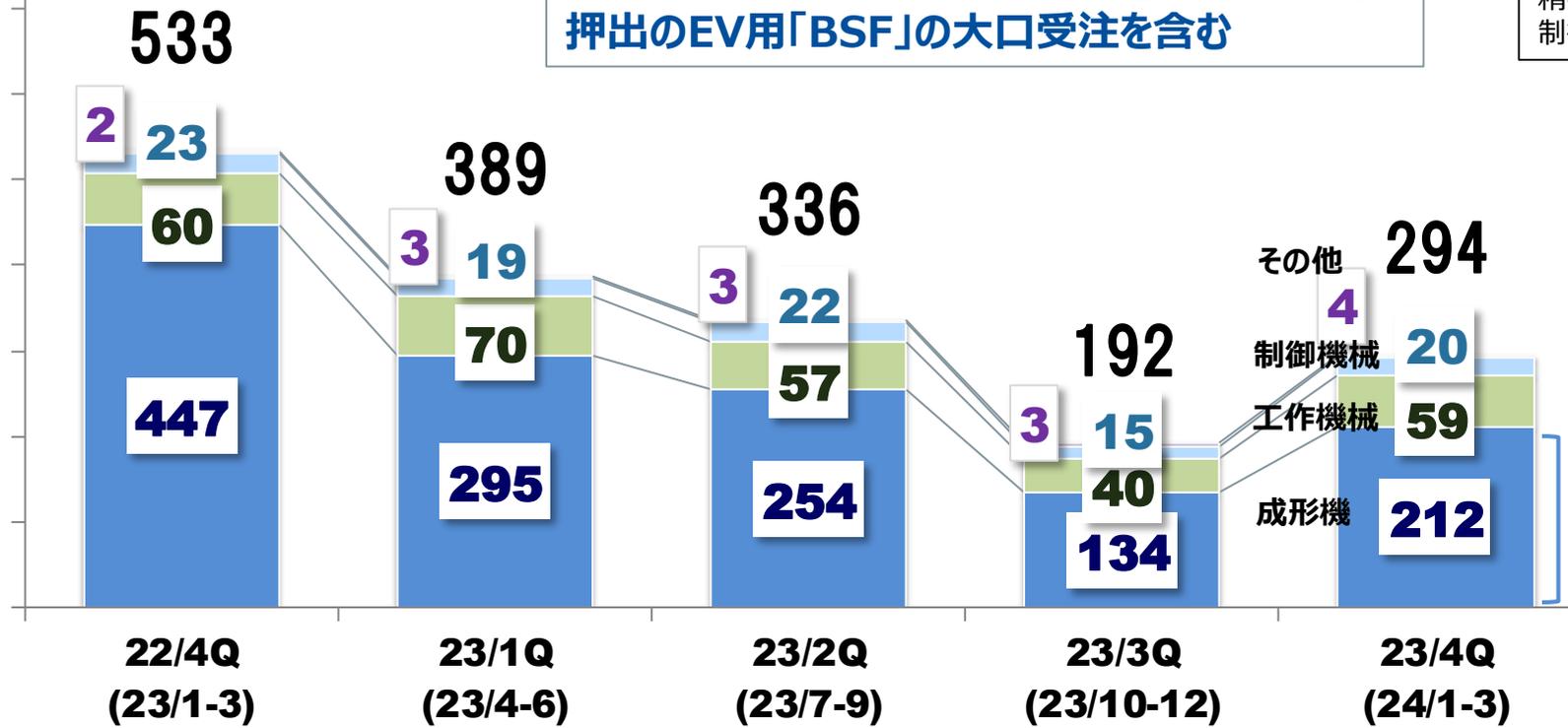


受注高推移 (セグメント)

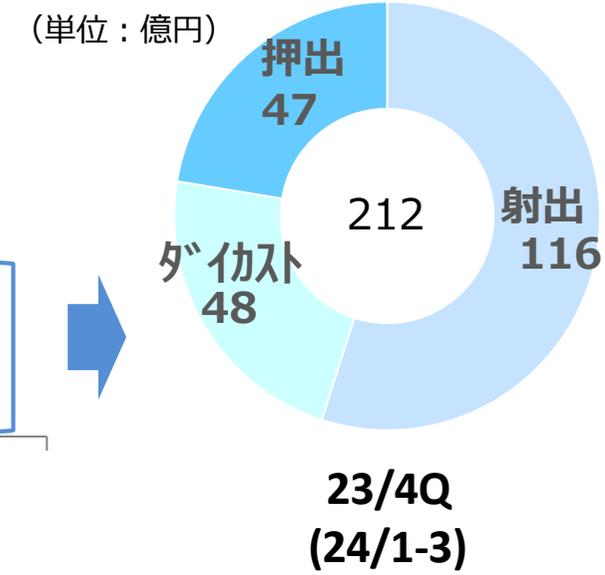
(単位：億円)

成形機には受注計上に四半期ごとの偏りがある
押出のEV用「BSF」の大口受注を含む

工作：大型の工作機械（工作機械セグメント）
精密：超精密加工機（工作機械セグメント）
制御：制御機械



成形機内訳

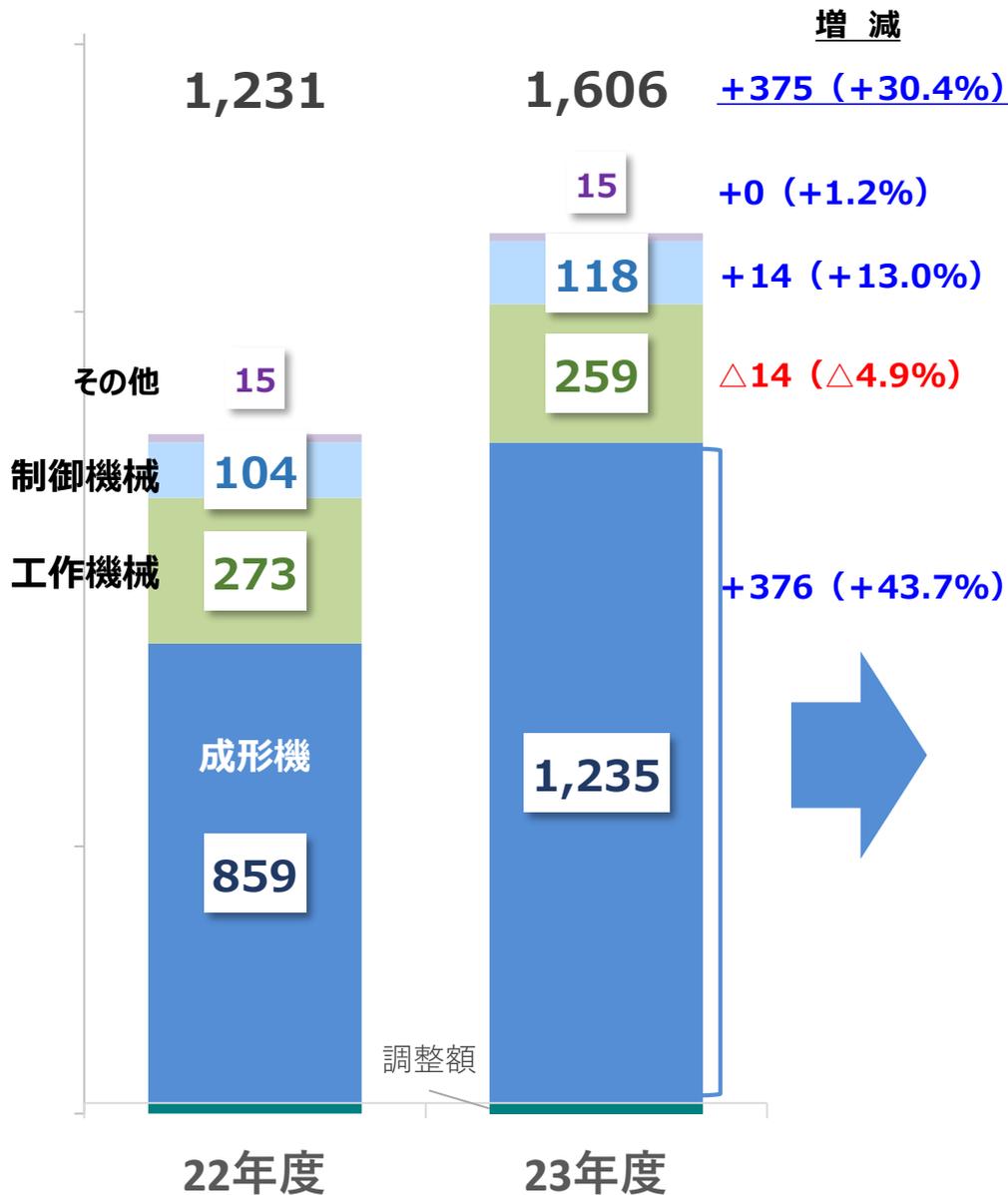


足元の受注状況

- 【射出】 中国は景気低迷により低調、北米向けは回復傾向
- 【ダイカスト】 自動車関連設備投資需要はEV向けを中心に緩やかに回復
- 【押出】 「BSF」はEV需要の伸びの鈍化、次世代機種への切替時期が重なり受注決定に遅れ
- 【工作】 北米におけるエネルギー関連向け堅調も、中国の景気低迷により低調
- 【精密】 中国における光学系金型向け低調
- 【制御】 中国における産業用ロボットが低調、国内における電子制御装置が堅調

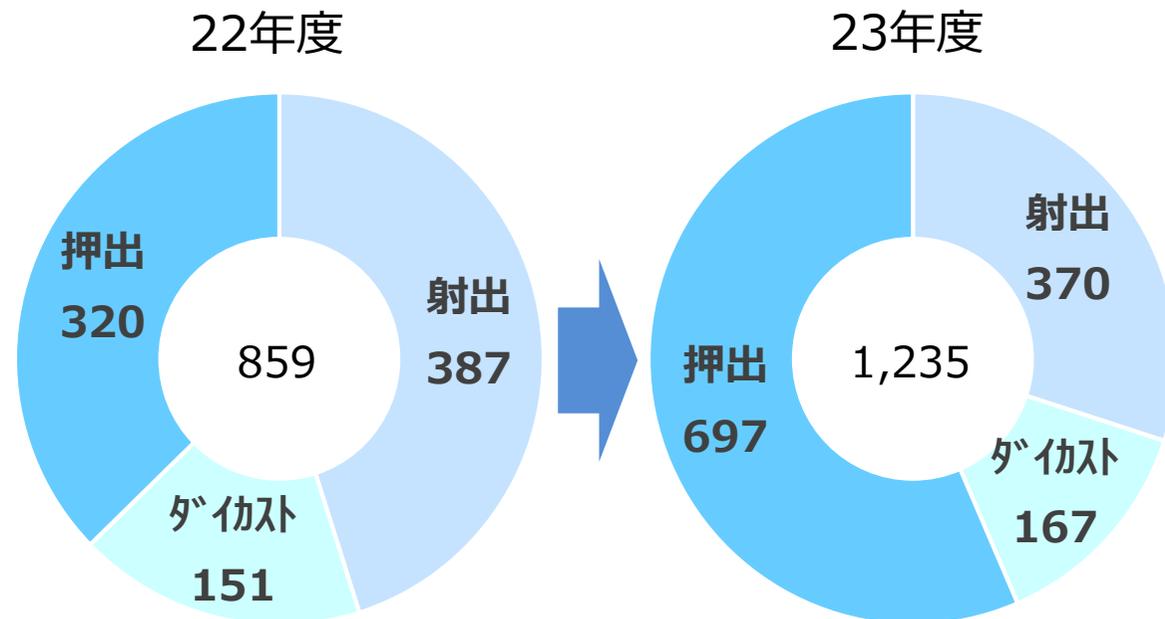
売上高 (セグメント)

(単位：億円)



(単位：億円)

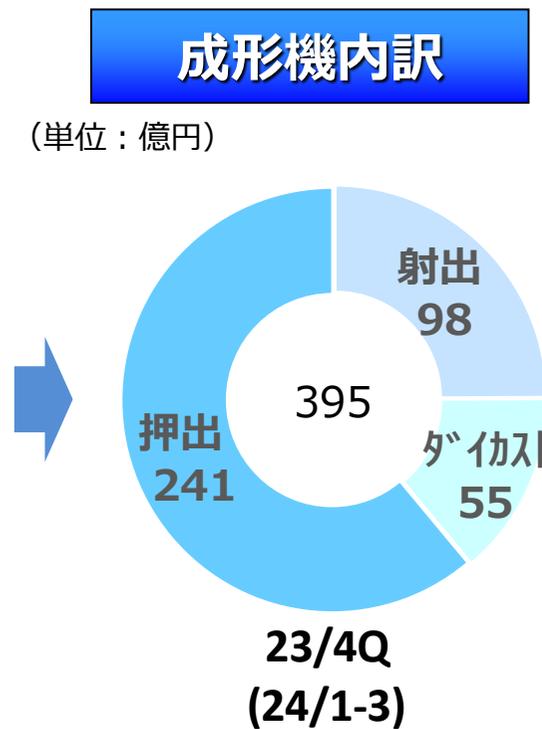
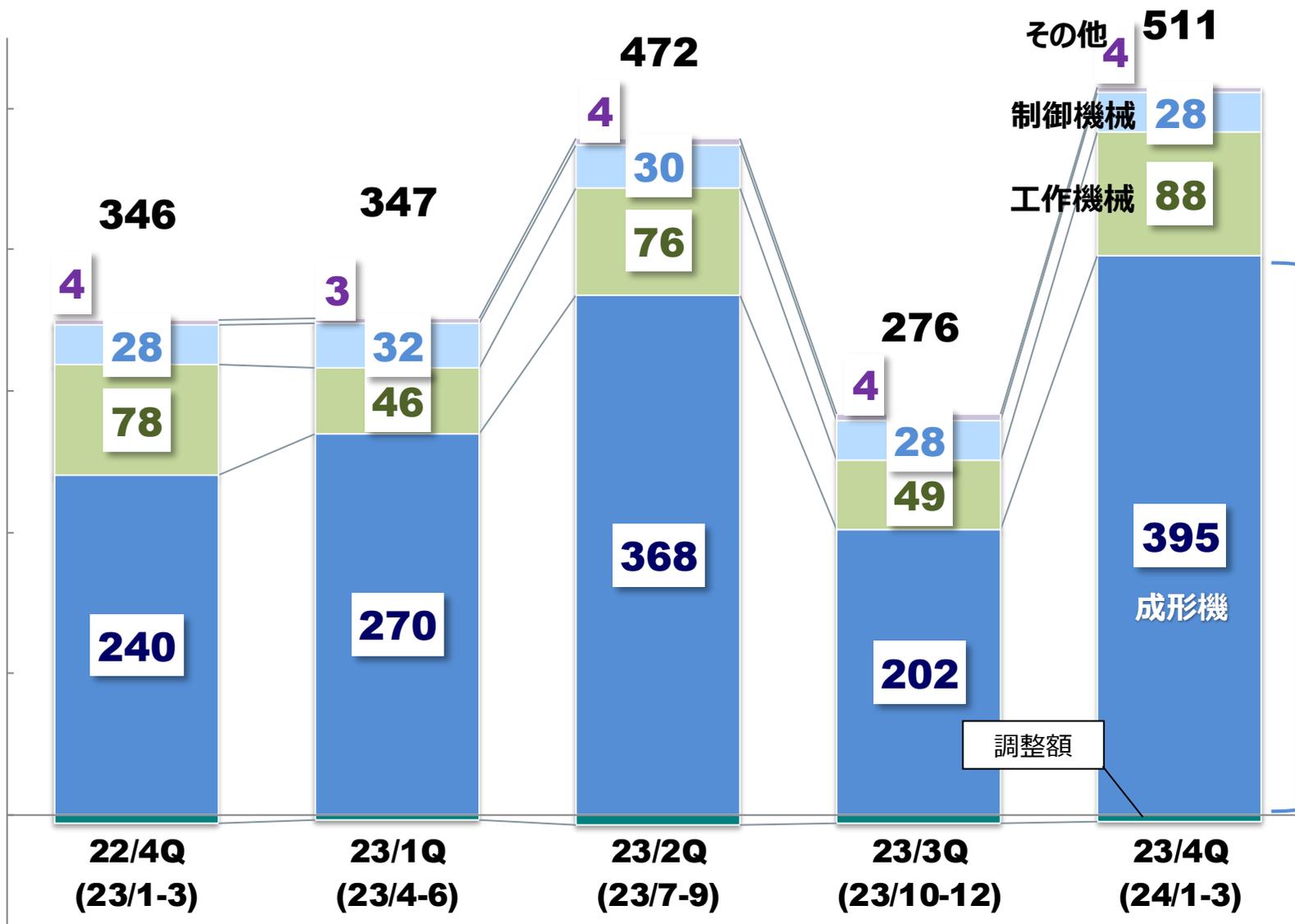
成形機内訳



売上高推移 (セグメント)

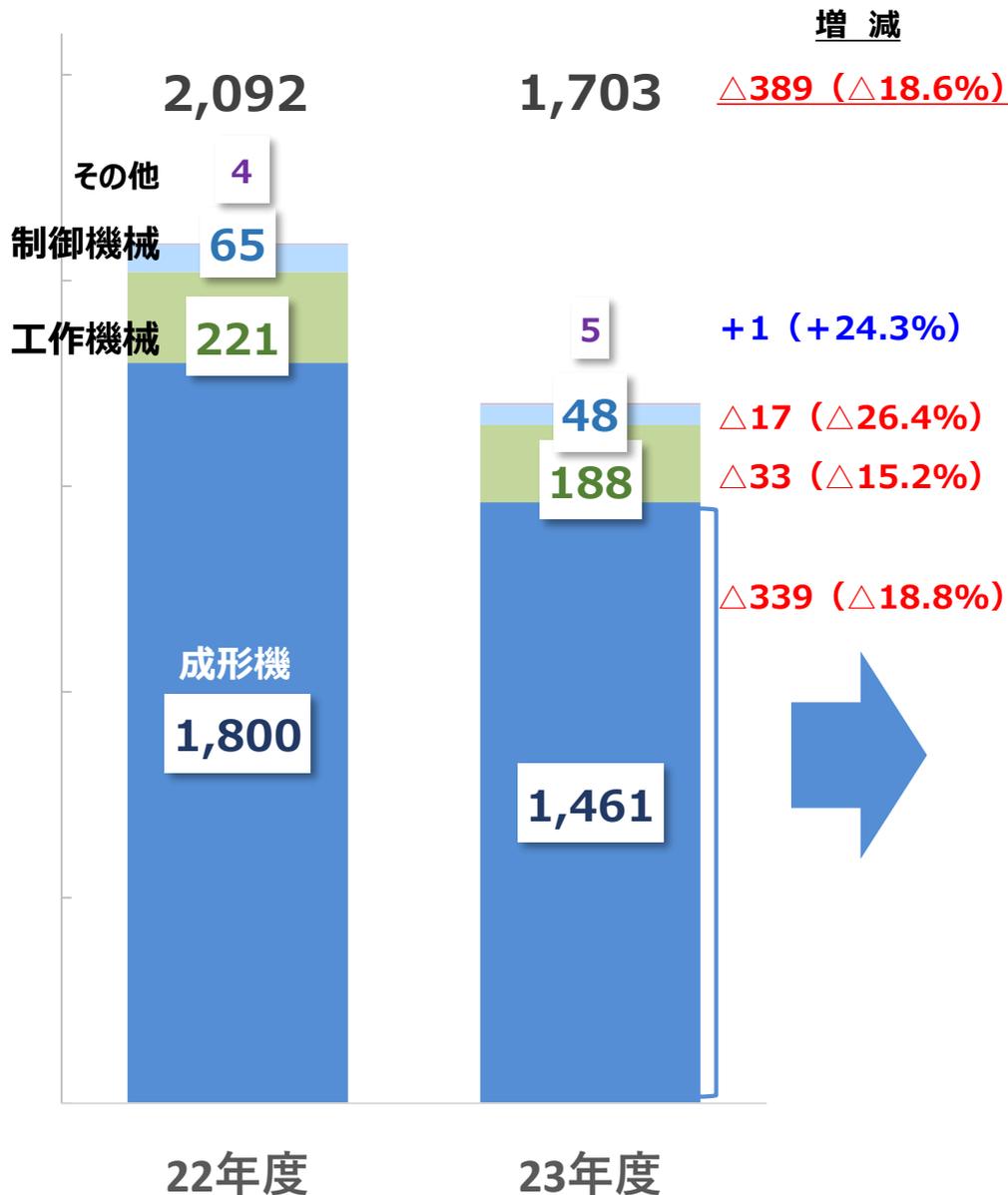
Shibaura Machine

(単位：億円)



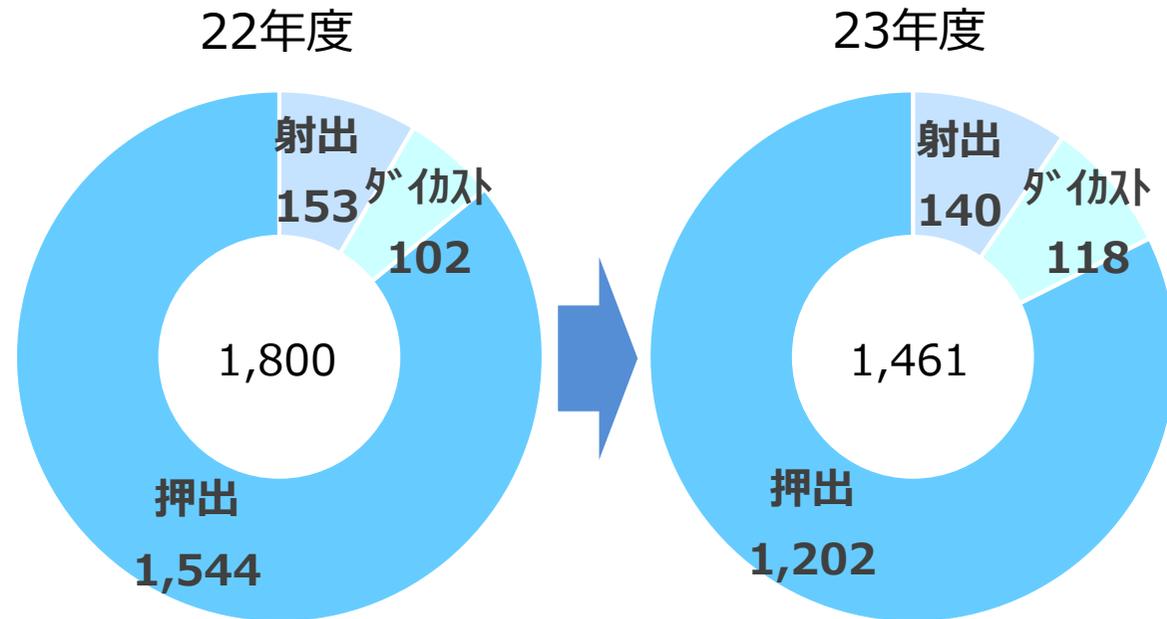
受注残高 (セグメント)

(単位：億円)



(単位：億円)

成形機内訳



営業利益（セグメント）・経常利益・当期純利益

Shibaura Machine

(単位：億円)

(単位：億円)

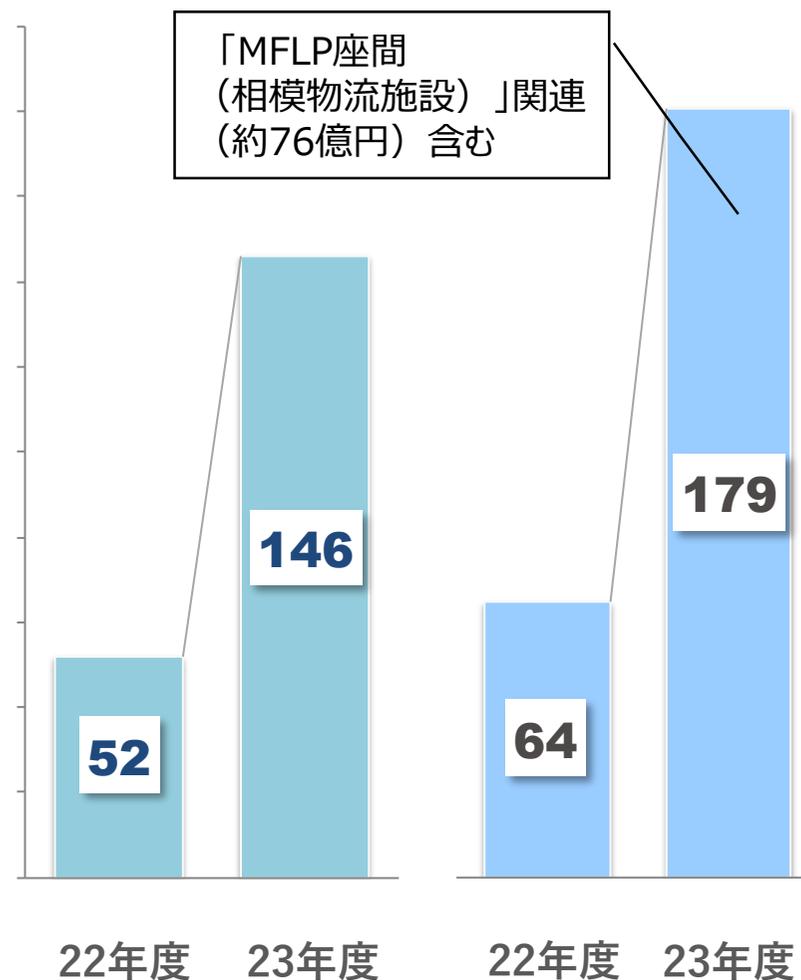
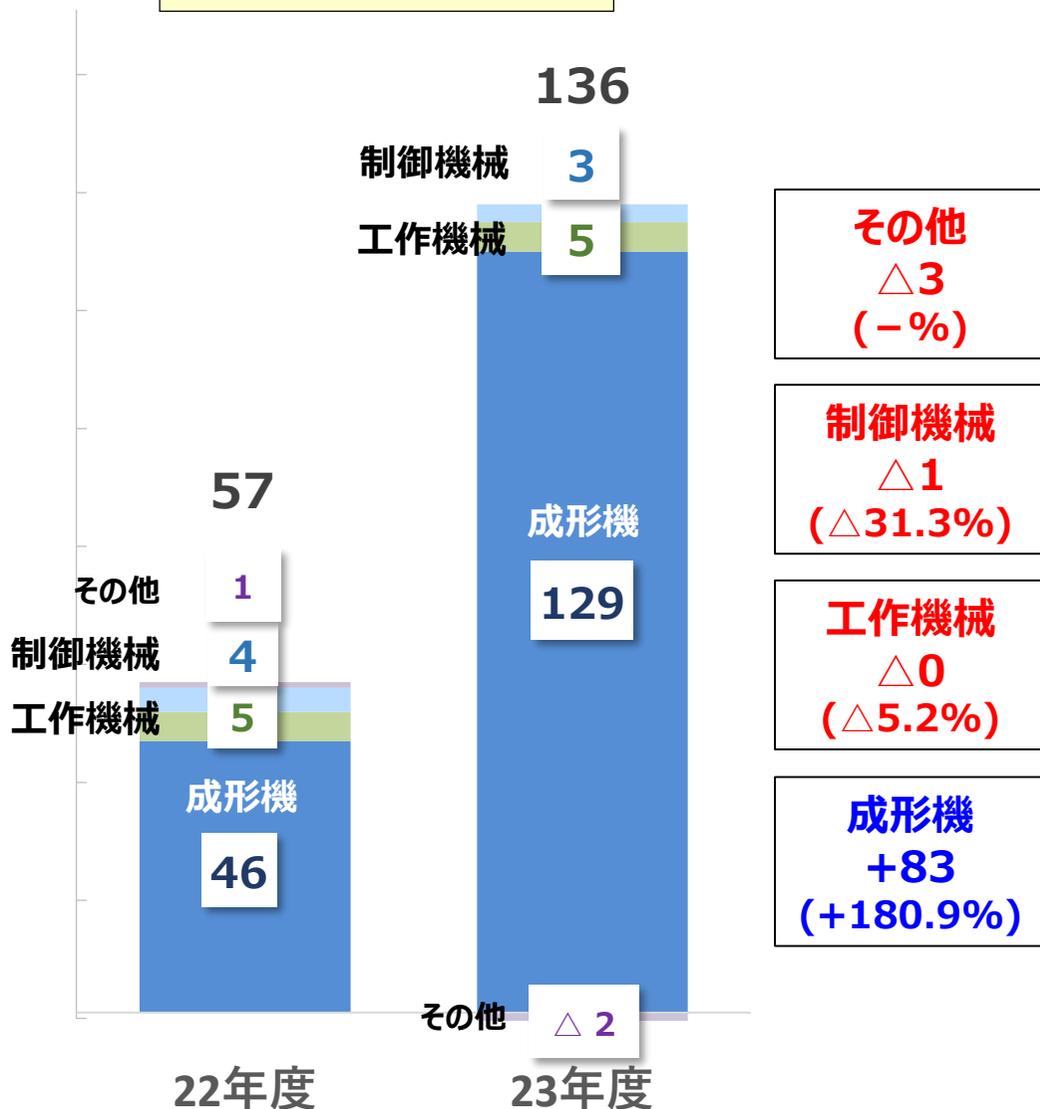
+79 (+136.1%)

経常利益

当期純利益

+94 (+176.6%)

+115 (+178.2%)



(成形機) セグメント業績

Shibaura Machine

(単位：億円)

(射出成形機・ダイカストマシン・押出成形機など)

	23年度	22年度	増減額	増減率
売上高	1,235	859	+376	+43.7%
営業利益	129	46	+83	+180.9%
利益率	10.5%	5.4%	—	+5.1pt

業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 【ダイカスト】国内、北米、東南アジア等における自動車関連向けが増加
- 【押出】中国におけるEV用「BSF」の大幅増加



ネガティブ・ファクター

- 【射出】北米で減少、中国の市況低迷長期化による減少

(工作機械) セグメント業績

Shibaura Machine

(単位：億円)

(工作機械、超精密加工機など)

	23年度	22年度	増減額	増減率
売上高	259	273	△ 14	△ 4.9%
営業利益	5	5	△ 0	△ 5.2%
利益率	2.0%	2.0%	—	△ 0.0pt

業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 【工作】北米におけるエネルギー関連向け増加
- 【精密】中国における車載用レンズ金型向け増加



ネガティブ・ファクター

- 【工作】国内における産業機械向け減少
- 【精密】中国における光学系金型向け減少

(制御機械) セグメント業績

Shibaura Machine

(単位：億円)

(産業用ロボット、電子制御装置など)

	23年度	22年度	増減額	増減率
売上高	118	104	+14	+13.0%
営業利益	3	4	△1	△31.3%
利益率	2.8%	4.6%	—	△1.8pt

業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 国内における電子制御装置及び省人化・省力化向けシステムエンジニアリング関連の増加

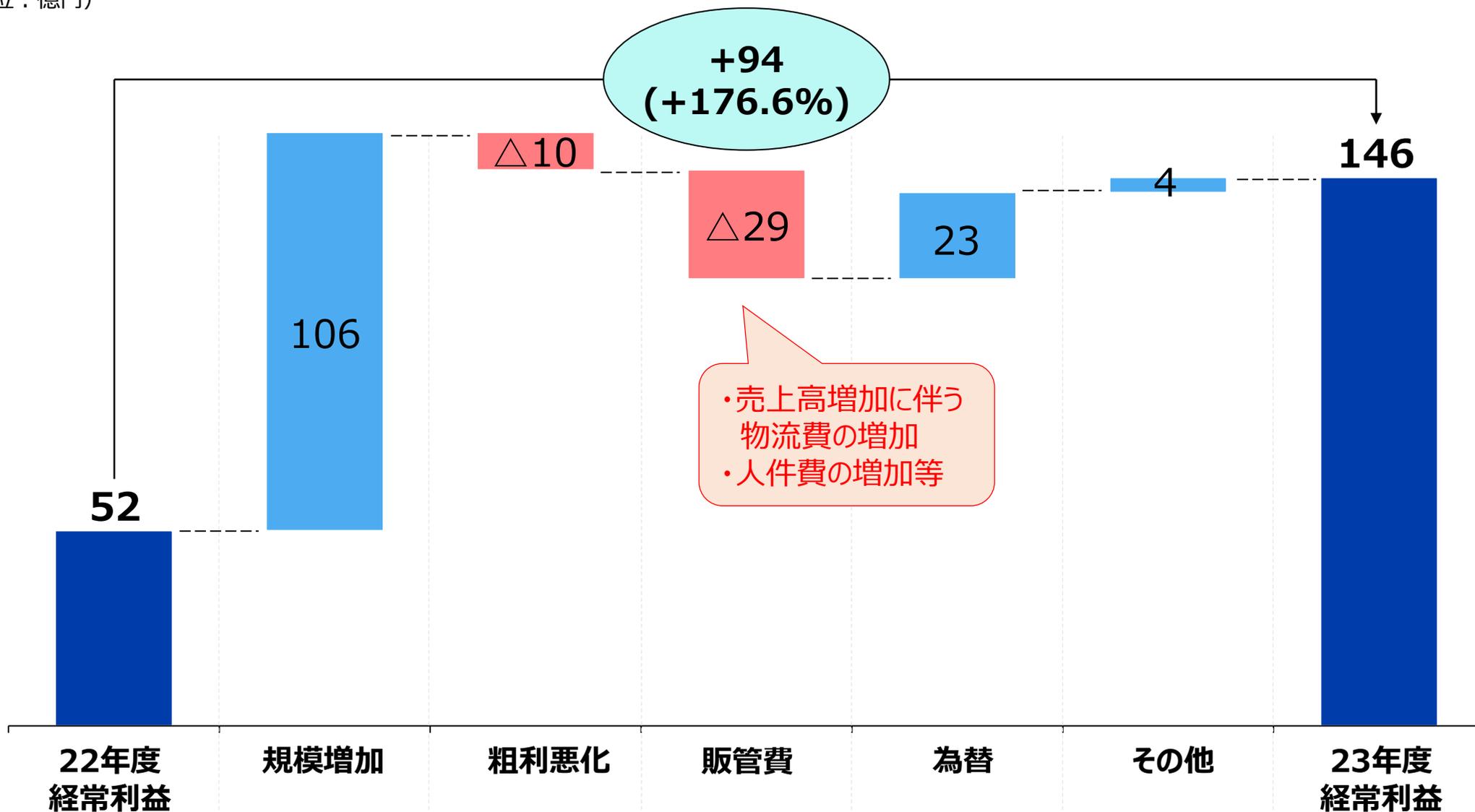


ネガティブ・ファクター

- 中国における産業用ロボット減少

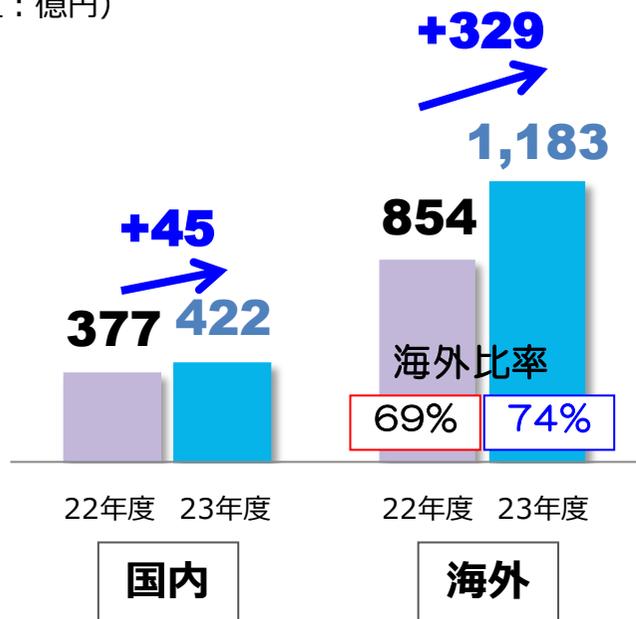
経常利益分析

(単位：億円)



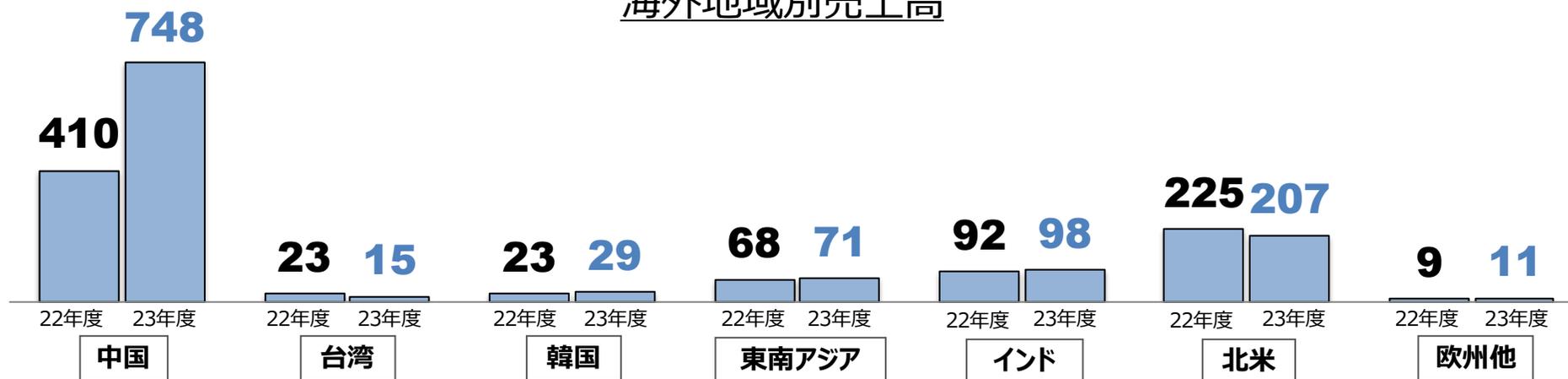
国内・海外売上高

(単位：億円)



- 国内：
 - ▶ 【射出】【ダイカスト】【押出】【制御】増加
 - ▶ 【工作】減少
- 中国：
 - ▶ 【押出】増加
 - ▶ 【射出】【精密】【制御】減少
- 東南アジア：
 - ▶ 【ダイカスト】増加
- 北米：
 - ▶ 【ダイカスト】【工作】増加
 - ▶ 【射出】減少

海外地域別売上高



海外売上高・比率（セグメント別）

Shibaura Machine

(単位：億円)

セグメント別 海外売上高 (海外比率)

海外売上高比率
22年度：69%
23年度：74%

(82%) (84%)
707 **1,040**

22年度 23年度

成形機

(49%) (53%)
135 **136**

22年度 23年度

工作機械

(14%) (6%)
11 **5**

22年度 23年度

制御機械

(1%) (2%)
0 **0**

22年度 23年度

その他

成形機 製品別 (海外比率)

(85%) (80%)
331 **297**

22年度 23年度

射出

(70%) (67%)
106 **111**

22年度 23年度

ダイカスト

(84%) (91%)
269 **631**

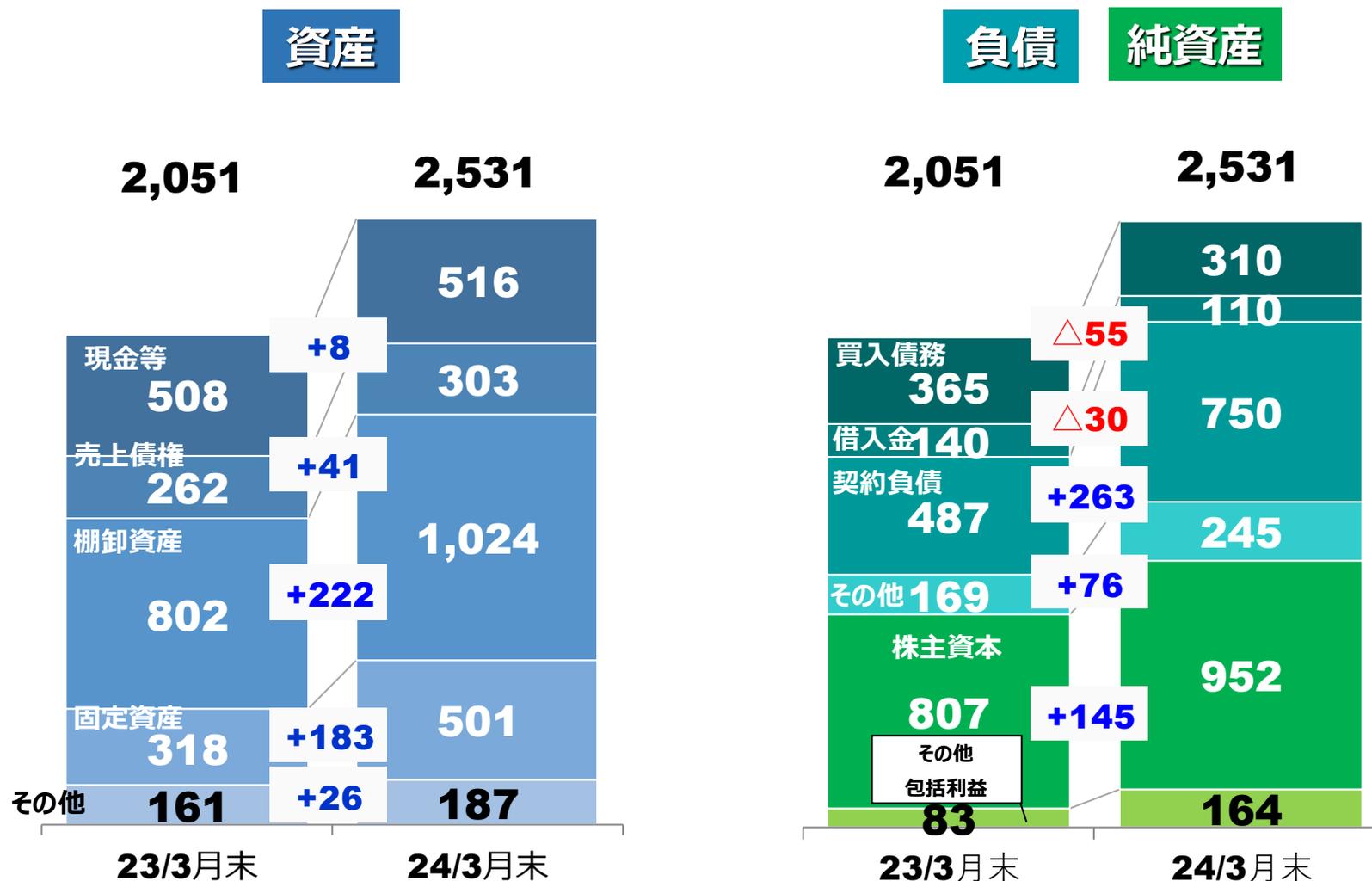
22年度 23年度

押出

貸借対照表

Shibaura Machine

(単位：億円)



	23/3月末	24/3月末
自己資本比率	43.5%	44.1%
D/E比率	15.7%	9.9%

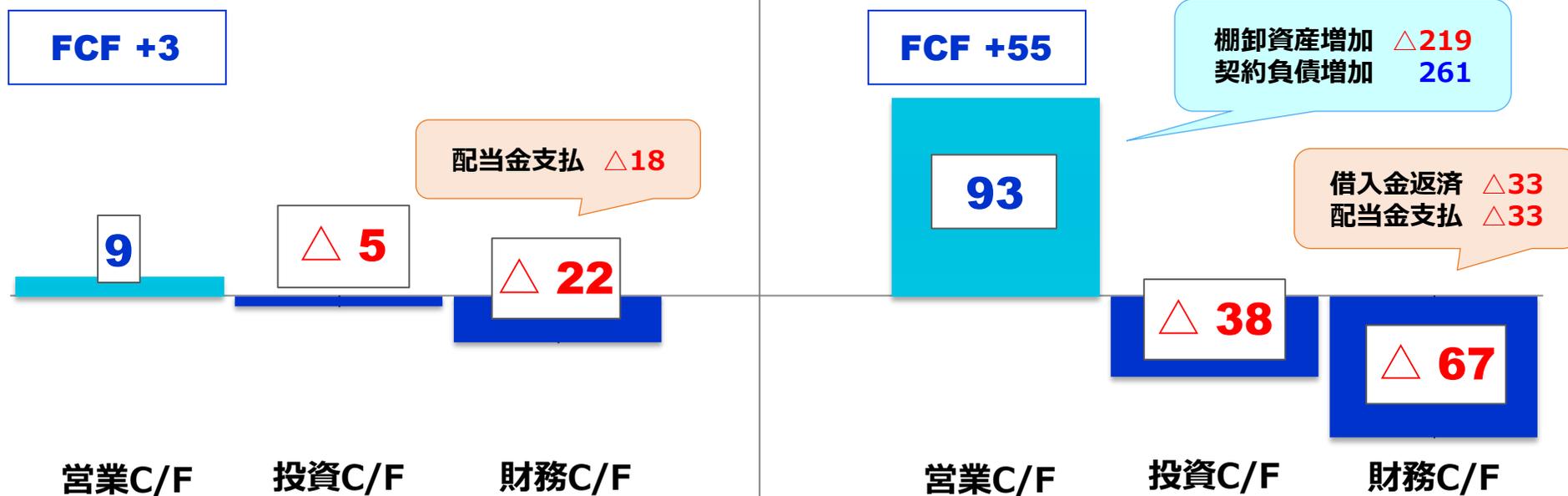
キャッシュ・フロー計算書

Shibaura Machine

(単位：億円)

22年度

23年度



	22年度	23年度	増減
現金及び同等物 期首残高	517	508	△ 9
営業活動によるC/F	9	93	84
投資活動によるC/F	△ 5	△ 38	△ 33
財務活動によるC/F	△ 22	△ 67	△ 45
計	△ 19	△ 12	7
換算差額 他	10	19	9
現金及び同等物 期末残高	508	515	7

2025年3月期 業績予想

- 1) 業績予想
- 2) 研究開発費、設備投資・減価償却費
- 3) 配当予想

2024年度 業績サマリー

Shibaura Machine

(単位：億円)

	2024年度 業績予想 (2024/5/13公表) (A)	2023年度 実績 (B)	増減 (A-B)
売上高	1,700	1,606	+94
営業利益	140	136	+4
利益率	8.2%	8.5%	△ 0.3pt
経常利益	126	146	△ 20
利益率	7.4%	9.1%	△ 1.7pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	92	179	△ 87
利益率	5.4%	11.2%	△ 5.8pt
受注高	1,720	1,211	+509
為替レート (USD)	145 円	151 円	

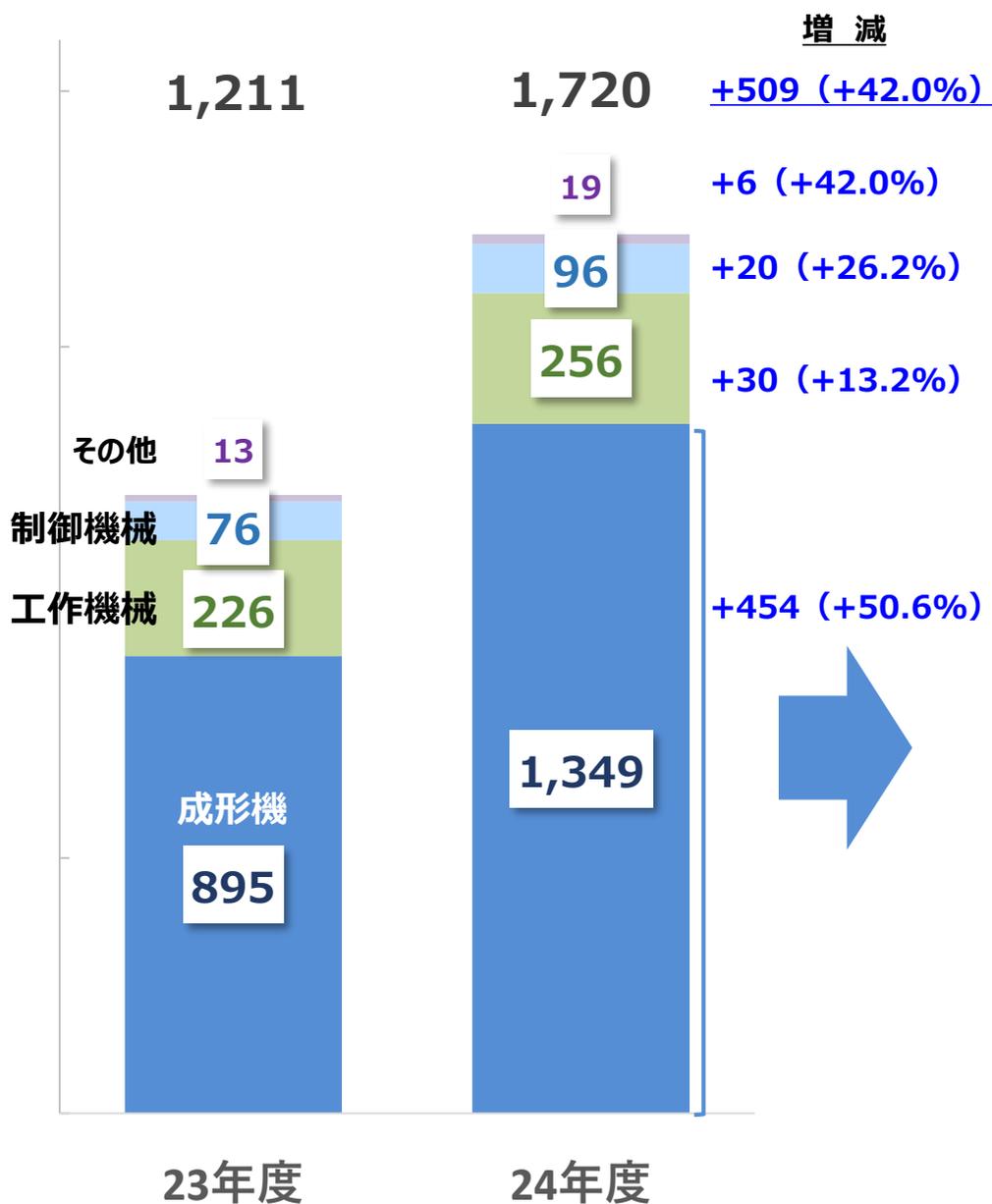
▶ 経常利益、当期純利益の前年実績に対する主な減少理由

- ・経常利益は、2023年度実績に為替差益を含む。業績予想には為替差損益は見込まず
- ・当期純利益は、2023年度実績に特別利益（土地の売却益）計上を含む。業績予想には特別利益は見込まず

▶ 受注高の増加理由は、主に押出成形機のEV用「BSF」の受注回復を見込む

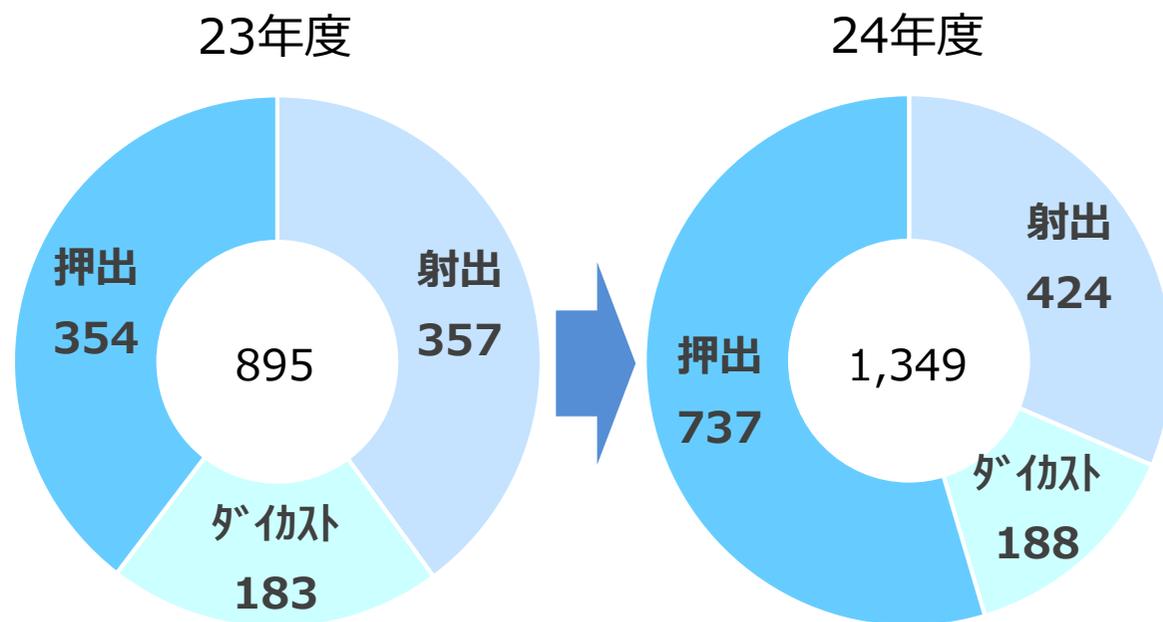
受注高 (セグメント)

(単位：億円)



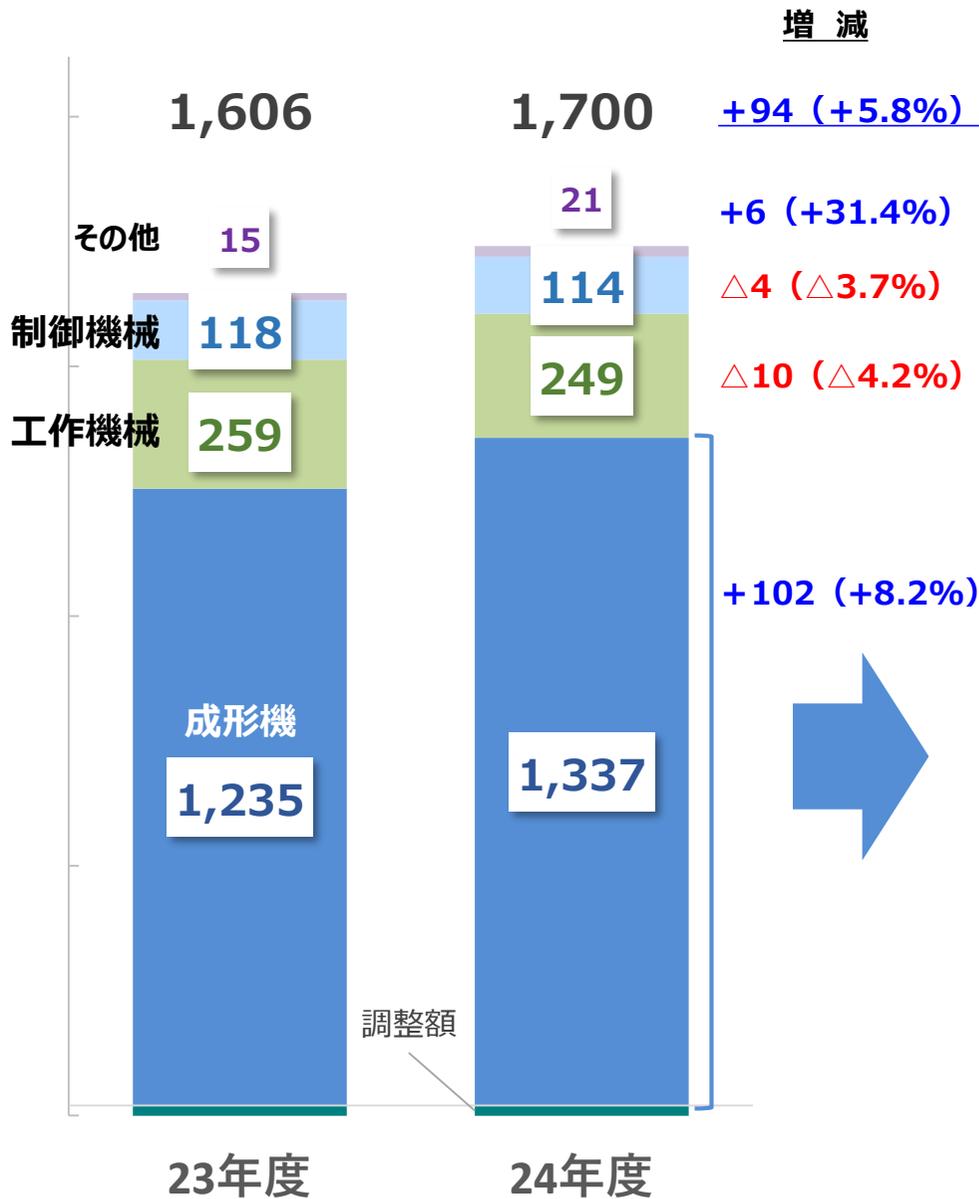
(単位：億円)

成形機内訳



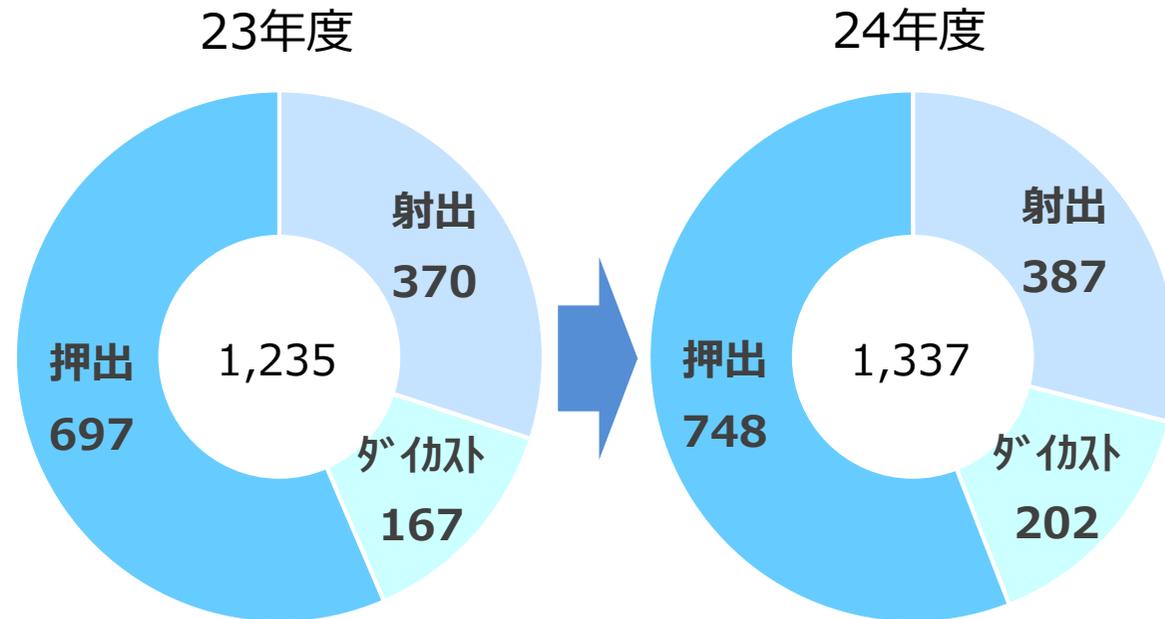
売上高 (セグメント)

(単位：億円)



(単位：億円)

成形機内訳



営業利益（セグメント）・経常利益・当期純利益

Shibaura Machine

(単位：億円)

+4 (+2.8%)

136

140

制御機械
工作機械

3

5

3

4

成形機

129

136

その他

△1
(-%)

制御機械

△0
(△10.1%)

工作機械

△1
(△21.3%)

成形機

+7
(+5.0%)

その他

△2

△3

23年度

24年度

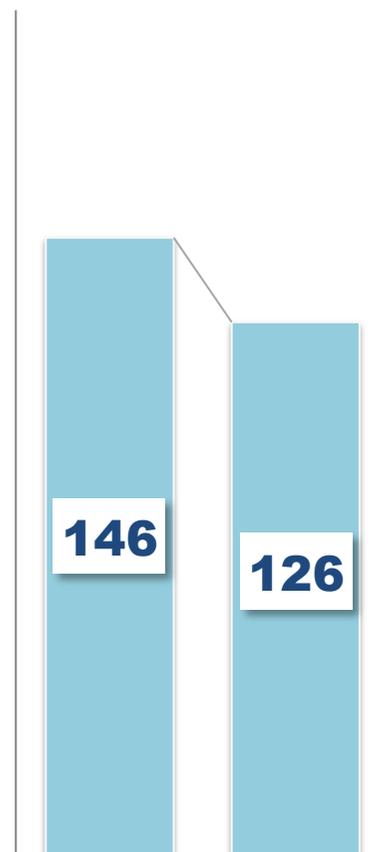
(単位：億円)

経常利益

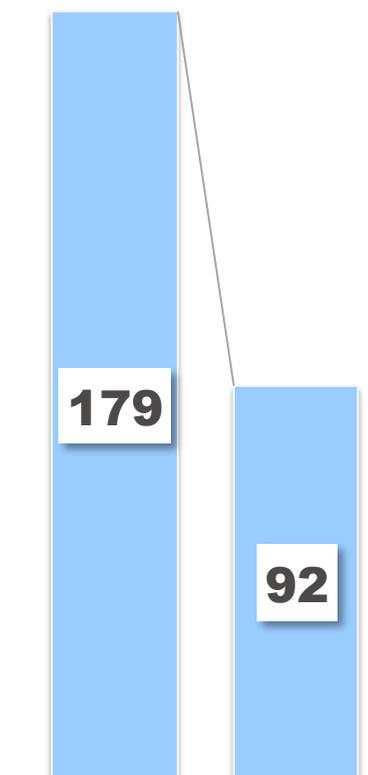
当期純利益

△20 (△13.7%)

△87 (△48.7%)



23年度 24年度



23年度 24年度

(成形機) セグメント業績

Shibaura Machine

(単位：億円)

(射出成形機・ダイカストマシン・押出成形機など)

	24年度	23年度	増減額	増減率
売上高	1,337	1,235	+102	+8.2%
営業利益	136	129	+7	+5.0%
利益率	10.2%	10.5%	—	△ 0.3pt

業績要因分析

+

ポジティブ・ファクター

- 【射出】インド市場の需要継続
- 【ダイカスト】自動車関連向け需要の緩やかな回復継続
- 【押出】中国におけるEV用「BSF」の売上規模継続

-

ネガティブ・ファクター

- 市況回復遅れのリスク

(工作機械) セグメント業績

Shibaura Machine

(単位：億円)

(工作機械、超精密加工機など)

	24年度	23年度	増減額	増減率
売上高	249	259	△ 10	△ 4.2%
営業利益	4	5	△ 1	△ 21.3%
利益率	1.6%	2.0%	—	△ 0.4pt

業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 【工作】北米におけるエネルギー関連向け需要継続



ネガティブ・ファクター

- 市況回復遅れのリスク

(制御機械) セグメント業績

Shibaura Machine

(単位：億円)

(産業用ロボット、電子制御装置など)

	24年度	23年度	増減額	増減率
売上高	114	118	△ 4	△ 3.7%
営業利益	3	3	△ 0	△ 10.1%
利益率	2.6%	2.8%	—	△ 0.2pt

業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 省人化・省力化向けシステムエンジニアリング関連需要の増加



ネガティブ・ファクター

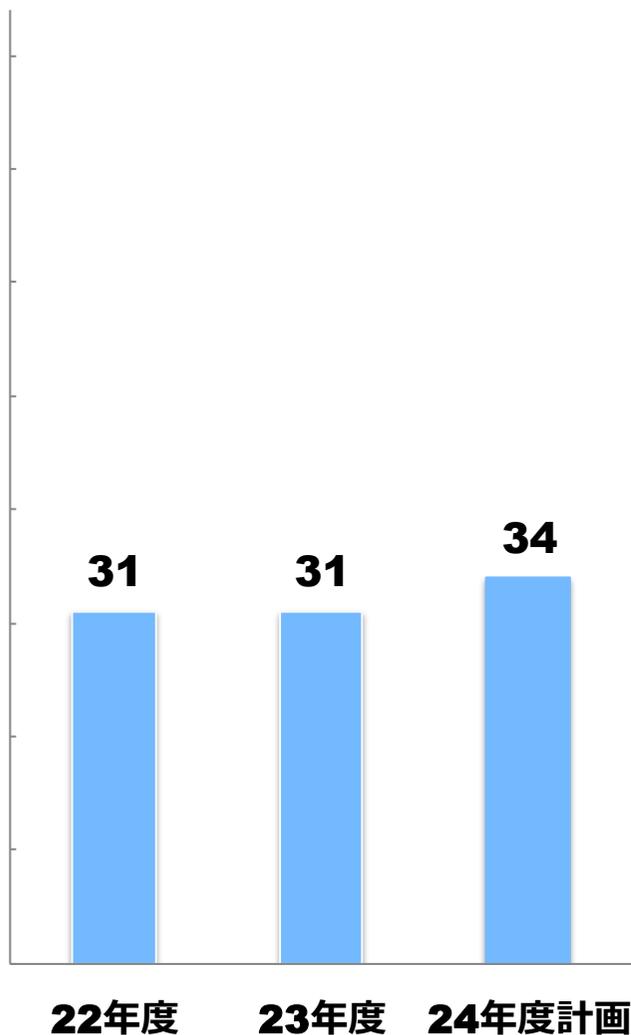
- 電子制御装置の売上減少

研究開発費、設備投資・減価償却費

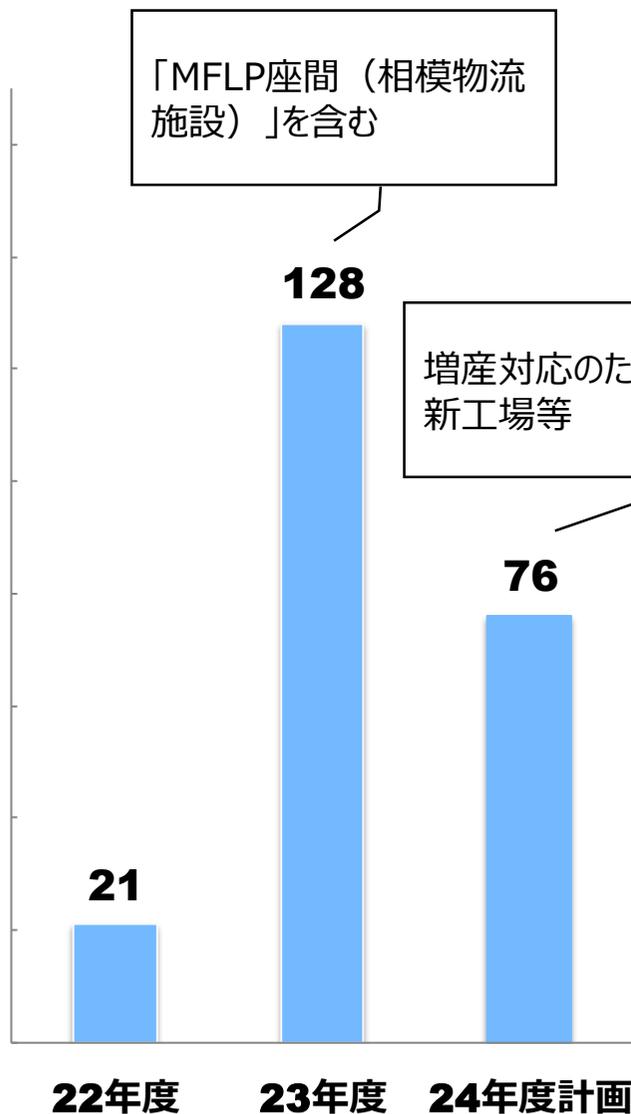
Shibaura Machine

(単位：億円)

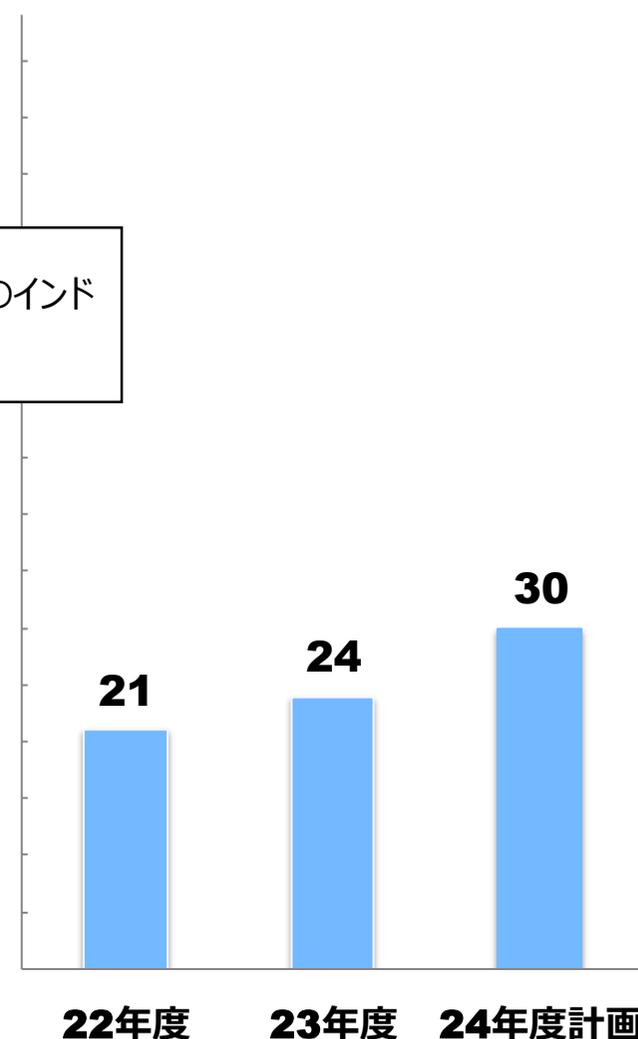
研究開発費



設備投資



減価償却費



配当金の決定に関する方針

当社は、収益性の向上に向けて経営体質の強化を図りながら、安定配当を維持し、業績に応じた利益配分をしていくことを基本方針としております。

利益剰余金につきましては、企業の継続的発展のため将来の事業展開等を戦略的に判断し、人的資本の強化や生産設備、技術開発、海外展開等に有効に投資していくとともに、継続して株主の皆さまへの適正な利益還元を実施してまいります。

	第2四半期末	期末	年間	配当性向 (連結)
2023年3月期	37.5円	70.0円	107.5円	40.3%
2024年3月期	70.0円	70.0円	140.0円	※52.1%
2025年3月期 (予想)	70.0円	70.0円	140.0円	35.6%

※「MFLP座間（相模物流施設）」事業化に係る特別利益（土地売却益）は、等価交換方式のため建物の持分取得に充てられたことから、当期純利益から除いています。
また、2024年5月13日に公表した自己株取得を含めた総還元性向として算出しています。

自己株式の取得及び消却につきまして

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するとともに資本効率の向上と株主還元の充実を図るため下記の自己株式の取得及び消却を実施いたします。

1. 自己株式の取得に係る事項の内容

- (1) 取得する株式の種類 : 当社普通株式
- (2) 取得する株式の総数 : 740,000株 (上限)
- (3) 株式の取得価格の総額 : 20億円 (上限)
- (4) 取得期間 : 2024年5月14日～2024年9月30日

2. 保有している自己株式の一部消却に係る事項の内容

- (1) 消却する株式の種類 : 当社普通株式
- (2) 消却する株式の総数 : 1,600,000株
(消却前の発行済株式総数に対する割合 : 5.93%)
- (3) 消却後の発行済株式総数 : 25,377,106株 (自己株式を含む)
- (4) 消却予定日 : 2024年5月28日
- (5) 消却後の発行済株式総数に対する自己株式の割合 : 4.77%

3. 自己株式保有方針

当社は保有する自己株式の総数の上限を、発行済株式総数の5%程度とし、それを超える自己株式については原則消却することとする。

Shibaura Machine

芝浦機械株式会社

〒100-8503 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル

TEL (03)3509-0444 FAX (03)3509-0336 URL : <https://www.shibaura-machine.co.jp>